

STOP!

両生類の

近年ネットオークションなどの商業目的による乱獲が、日本の両生類の絶滅のリスクを高める要因となっています。

乱 獲 充 賈

大人になるまでに時間がかかる

両生類はたくさん卵を産みますが、大人になれるのは、ほんの少しです。しかも小型のカエルでも大人になるのに1~2年、サンショウウオの仲間は3~4年もかかります。やっと大人になれたのに乱獲されると、子供を残せず数が減ってしまいます。



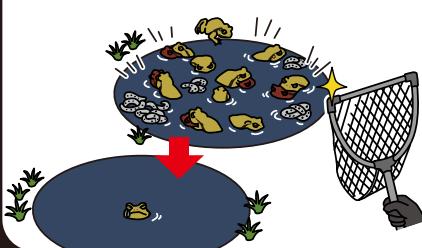
移入による多様性の消失・病気の持ち込み

同じ種でも場所によって体の色や遺伝子に違いがあるので、捕まえた個体を他の場所に逃すと、その場所の特徴が変わってしまい、本来の多様性がなくなります。また野外にない病気を持ち込んでしまう可能性もあります。



産卵は年に1回だけ

多くの両生類のメスは一年に一度、一部のサンショウウオは二年に一度しか産卵できません。そして特に早春に産卵する仲間は、一年に一度だけ、しかも短期間に一斉に産卵するため、集まつた大人や卵を乱獲すると、回復できないほど数が減ってしまいます。



生息環境の悪化と外来種による影響

多くの地域で、開発、増えたシカによる食害、雪解け水の減少などにより生息環境が悪くなっています。最近は野生化したアライグマによる捕食も問題になっています。その上に乱獲が重なると、急に数が減って、その場所では絶滅してしまうこともあります。



希少種の保全

分布が限られている種や、生息数が少ない種は法律や条例で保護されており、捕獲したら罰則がある場合があります。



採集するときは、保護されている種でないか、採集して良い地域なのか確認し、個人で無理なく飼育可能な数だけを採集しましょう。

